

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第35期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	イマジニア株式会社
【英訳名】	Imagineer Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼CEO 神藏 孝之
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
【電話番号】	03(3343)8911(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役兼CFO 中根 昌幸
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
【電話番号】	03(3343)8911(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役兼CFO 中根 昌幸
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第1四半期連結 累計期間	第35期 第1四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	1,487,379	1,060,222	4,851,902
経常利益(千円)	433,029	145,153	689,014
四半期(当期)純利益(千円)	298,312	101,594	414,585
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	275,235	102,272	418,655
純資産額(千円)	7,666,614	7,546,765	7,577,867
総資産額(千円)	8,631,761	8,213,959	8,557,954
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	30.05	10.51	42.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	88.8	91.8	88.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第34期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当第1四半期連結累計期間において、モバイルコンテンツ事業に携っていた当社の連結子会社であったソリッドロジックス株式会社は、平成23年4月1日付けで当社を存続会社とする吸収合併により解散しております。

当第1四半期連結累計期間より、投資教育事業の収益化が見込まれるため「投資教育事業」セグメントを新設しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、生産及び輸出で上向きの動きが見られるものの、東日本大震災の影響による電力供給及び原子力災害の影響等の下振れ懸念もあり厳しい状態にあります。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、電気通信事業者協会の調べにおける平成23年6月末現在では、携帯電話の契約数は121百万台となっており、その内、第三代携帯電話の契約数は120百万台と全体の契約数の99.0%を占めております。また、スマートフォンも普及が進み、株式会社MM総研の調べにおける平成23年3月末現在では9百万台となっております。

このような環境下におきまして、当社グループは中期的な経営の方向性を「新たな成長へのチャレンジ」と定め、中長期的な収益モデルの育成を実行するフェーズとしております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,060,222千円（前年同期比28.7%減）、営業利益144,330千円（前年同期比68.1%減）、経常利益145,153千円（前年同期比66.5%減）、四半期純利益101,594千円（前年同期比65.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業におきましては、スマートフォン向けコンテンツの提供の強化を図るため、月額課金サービスの提供やアプリでは顧客の人気の高いゲームや長期間での販売が見込める電子書籍を中心に厳選されたコンテンツの提供や海外での販売などに注力しております。

また、フィーチャーフォン向けの有料サイトについても会員数を維持できるよう取り組んでおります。

上記の結果、売上高772,517千円（前年同期比18.3%減）、営業利益235,883千円（前年同期比34.0%減）となりました。

(モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業におきましては、モバイルサイト上でのキャラクター限定商品の増加による売上高の拡大とライセンス及びセールスプロモーションビジネスではライセンス販売先の拡充に取り組んでおります。

上記の結果、売上高63,878千円（前年同期比24.5%減）、営業損失13,343千円（前年同期は526千円の営業損失）となりました。

(パッケージソフトウェア事業)

パッケージソフトウェア事業におきましては、定番化を目指す「Enjoy Diet!」シリーズの新作として「ピリーズブートキャンプWiiでエンジョイダイエット!」をWii向けタイトルとして発売しました。また、今年発売となった携帯型ゲーム機「ニンテンドー3DS」向けタイトルの開発を進めております。

上記の結果、売上高213,694千円（前年同期比53.8%減）、営業利益28,622千円（前年同期比87.4%減）となりました。

(投資教育事業)

投資教育事業におきましては、事業開始からテストを繰り返してきた投資信託提案支援システムの銀行及び証券会社等の販売会社への営業展開と当該システムの導入先の拡大に備えたファンドデータの充実を図っております。

なお、当第1四半期連結累計期間より売上高が計上されております。その結果、売上高10,276千円、営業損失24,117千円となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は39,514千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,480,000
計	47,480,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,649,000	10,649,000	大阪証券取引所 JASDAQ市場 (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,649,000	10,649,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成23年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	10,649	-	2,669,000	-	667,250

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 967,500		
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,679,200	96,792	
単元未満株式	普通株式 2,300		
発行済株式総数	10,649,000		
総株主の議決権		96,792	

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
イマジニア株式会社	東京都新宿区 西新宿二丁目7番 1号	967,500		967,500	9.1
計		967,500		967,500	9.1

(注) 当第1四半期会計期間末の自己株式数は1,003,949株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,228,206	5,971,717
受取手形及び売掛金	967,629	929,620
商品及び製品	15,617	15,744
仕掛品	939	1,598
原材料及び貯蔵品	8	6
その他	131,017	81,042
貸倒引当金	23,139	30,654
流動資産合計	7,320,280	6,969,074
固定資産		
有形固定資産	130,916	123,528
無形固定資産	28,638	41,319
投資その他の資産		
投資有価証券	659,974	667,718
その他	456,304	448,677
貸倒引当金	38,159	36,359
投資その他の資産合計	1,078,119	1,080,036
固定資産合計	1,237,674	1,244,885
資産合計	8,557,954	8,213,959
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,492	25,724
営業未払金	452,842	376,188
未払法人税等	214,420	31,054
賞与引当金	-	4,250
その他	287,702	222,472
流動負債合計	971,457	659,690
固定負債	8,629	7,503
負債合計	980,087	667,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,050,607	3,036,024
自己株式	582,500	600,073
株主資本合計	7,603,130	7,570,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,707	27,029
その他の包括利益累計額合計	27,707	27,029
新株予約権	2,444	2,821
純資産合計	7,577,867	7,546,765
負債純資産合計	8,557,954	8,213,959

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,487,379	1,060,222
売上原価	630,886	503,796
売上総利益	856,492	556,426
販売費及び一般管理費	404,565	412,096
営業利益	451,927	144,330
営業外収益		
受取配当金	100	3,650
投資事業組合運用益	-	4,201
貸倒引当金戻入額	1,800	1,800
その他	133	272
営業外収益合計	2,033	9,923
営業外費用		
投資事業組合運用損	557	-
為替差損	10,599	7,920
持分法による投資損失	9,773	555
その他	0	623
営業外費用合計	20,931	9,100
経常利益	433,029	145,153
特別利益		
投資有価証券売却益	114,414	-
特別利益合計	114,414	-
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,490	-
特別損失合計	5,490	-
税金等調整前四半期純利益	541,953	145,153
法人税、住民税及び事業税	167,978	25,295
法人税等調整額	75,662	18,263
法人税等合計	243,641	43,559
少数株主損益調整前四半期純利益	298,312	101,594
四半期純利益	298,312	101,594

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298,312	101,594
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	23,077	678
その他の包括利益合計	23,077	678
四半期包括利益	275,235	102,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,235	102,272
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
連結の範囲の重要な変更 連結子会社であったソリッドロジックス株式会社は、当第1四半期期首での当社による吸収合併により、連結子会社ではなくなりました。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	減価償却費
5,790千円	10,185千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月12日 取締役会	普通株式	119,119	12	平成22年3月31日	平成22年6月14日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月11日 取締役会	普通株式	116,177	12	平成23年3月31日	平成23年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	941,302	84,185	461,890	1,487,379	-	1,487,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,500	384	279	5,163	(5,163)	-
計	945,802	84,569	462,170	1,492,543	(5,163)	1,487,379
セグメント利益(又は損失)	357,636	(526)	226,933	584,043	(132,116)	451,927

(注)1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去 3,396千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用 128,720千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にか
 かる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
売上高							
外部顧客への 売上高	772,517	63,878	213,550	10,276	1,060,222	-	1,060,222
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	-	143	-	143	(143)	-
計	772,517	63,878	213,694	10,276	1,060,366	(143)	1,060,222
セグメント利益 (又は損失)	235,883	(13,343)	28,622	(24,117)	227,045	(82,715)	144,330

(注)1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去329千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用 83,044千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる
 費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結累計期間より、投資教育事業の収益化が見込まれるため「投資教育事業」セグメントを新設し
 ております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
共通支配下の取引等	
1. 取引の概要	
(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容 結合当事企業の名称 ソリッドロジックス株式会社(当社の100%子会社) 事業の内容 ソフトウェア開発	
(2) 企業結合日 平成23年4月1日	
(3) 企業結合の法的形式 当社を存続会社、ソリッドロジックス株式会社を消滅会社とする吸収合併方式であります。	
(4) 結合後企業の名称 イマジニア株式会社	
(5) その他取引の概要に関する事項 ソリッドロジックス株式会社は、当社の100%出資子会社であり、主に当社のモバイルコンテンツの開発及び運用業務を受託しておりましたが、当社の事業展開のスピードアップ及び組織運営の強化・効率化を目的として、同社を吸収合併いたしました。	
2. 実施した会計処理の概要 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。	

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	30円05銭	10円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	298,312	101,594
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	298,312	101,594
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,926	9,666
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
(自己株式の取得)	
当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、平成23年7月29日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。	
(1) 取得の方法 市場買付	
(2) 取得する株式の種類 当社普通株式	
(3) 取得する株式の総数 70,000株(上限) (発行済株式総数に対する割合0.73%)	
(4) 株式取得価額の総額 40,000千円(上限)	
(5) 株式取得の日程 平成23年8月1日~平成23年9月20日	

2【その他】

平成23年5月11日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額.....116百万円
- (ロ) 1株当たりの金額.....12円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年 6月13日

(注) 平成23年 3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月11日

イマジニア 株式会社
取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人

指定社員

業務執行社員

公認会計士 小林 伸行 印

指定社員

業務執行社員

公認会計士 佐山 正則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイマジニア株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イマジニア株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。